

全国中央会創立50周年 記念式典・祝賀会開催

中央会が発展し、日本の活力を支え、リードしていくことに期待

11月29日(水)全国中小企業団体中央会創立50周年記念式典・祝賀会が東京全日空ホテルにて開催された。

祝賀会には、来賓として安倍晋三内閣総理大臣が出席し「戦後日本経済は、中小企業が中心となって引っ張ってきた。全国430万の中小企業があつてこそはじめて日本の力強い経済がある。今後は、“オープン”と“イノベーション”、そして“再チャレンジ”の3本柱で経済運営をしていきたい。地域の元気・活力につながり、日本全体で活力が出るのが目指す“美しい国”につながっていく。創立50周年を期に中央会がますます発展し、日本の活力を支え、リードしていただくことを期待する」と祝辞を述べた。

そのほか、甘利明経済産業大臣、山本幸三経済産業副大臣、菅原一秀厚生労働大臣政務官、田中和徳財務副大臣、逢沢一郎衆議院議員、稲葉大和石毛博行中小企業庁長官、江崎格商工中金理事長、水口弘一中小企業金融公庫総裁、薄井信明国民金融公庫総裁等多数の来賓が出席した。

祝賀会に先立ち行われた記念式典では、甘利明経済産業大臣から「経済政策をライフワークとして取り組んできました。他の原資ともなる国富を生み出す施策は最も大事であり、それが経済産業政策である、との思いをもっているからです。とりわけ、中小企業施策には、重点を置いて取り組んでまいりました。全国中央会が、中小企業の組織化を通じて、中小企業の経済的地位の向上に大きく貢献してこられたことについては十分認識しており、引き続き中小企業の発展のためにリーダーシップを発揮し全国中小企業全体の底上げのため活躍を願っている。」と祝辞を述べた。

表彰式が行われ本県関係では、「経済産業大臣表彰」菊地茂弥氏、「中小企業庁長官表彰」中央会役員千歳栄氏、半田春吉氏、清野伸昭氏、榊直徳氏、斎藤勝元氏、中央会専従職員平井保彦氏、大江裕之氏、三浦賢二氏、川合豊氏が受章されました。



全国中央会50周年記念式典



石毛長官から表彰を受ける千歳会長